

プロセス2 意識を高める(学ぶ)

【行動計画P. 5～7】

| 項目 | 事業名 | 担当課 | (1)令和4年度実施状況 | | | (2)目標指標の状況 | | | |
|-----------------|-----------------|---------|--|-------|-------|--|----------------|----------------|--|
| | | | 取組内容 | 協働の相手 | 事業の評価 | 効果又は理由(改善策) | 基準値(H27) | 目標値(R4) | 現状値(R4) |
| | | | | ①～⑦ | | | | | |
| (1)情報交換の「場」をつくる | 地域活動・市民活動交流会 | 市民協働推進課 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の上「地域円卓カフェ」を5回実施した。その他の継続事業「若者の社会参加促進事業」「市民フェスタ」「協働サミット」「映像コンテスト」についても実施し、地域活動に参加する機会を創出することができた。 | ①②③④⑤ | A | 市民活動を活性化させるためにも、交流の場となる事業を効果的に実施していく必要がある。 | 参加者数 97人 | 参加者数 150人 | 参加者数 388人 |
| | 市民活動センターの設置運営 | 市民協働推進課 | 事業実施への協力を得ることができた。協議会主催事業を実施できた。市民活動センター利用者協議会役員会を開催し、市民活動センター運営についての共通理解を図ることに努めた。 | ①②③④⑤ | B | 引き続き、市民活動センターと利用者協議会の連携を強化していく。 | センター設置 未設置 | センター設置 設置 | センター設置 設置 |
| | 結婚サポートセンターの設置運営 | 市民協働推進課 | 結婚サポートセンターの運営 縁結び事業・とちぎ結婚支援事業の実施 | ①⑦ | A | 縁結び事業から3組ご成婚された。 | センター設置 未設置 | センター設置 設置 | H29.7.6設置 |
| | 消費生活と環境展 | 生活課 | 2022年度那須塩原市「消費生活と環境展」として以下を開催した。(合計参加団体数：29団体) ○プレイベント(参加団体：19団体) ・「デジタル」消費生活と環境展(市特設ホームページにて情報パネルを1年間公開) ・消費生活と環境パネル展示(健康長寿センターにてパネル展示を2月1日から2月17日までの17日間実施) ○メインイベント(参加団体：25団体) ・2022年度那須塩原市「消費生活と環境展」(まちなか交流センターと那須塩原市図書館での同時開催) | ② | B | 開催場所・実施内容の変更により前回開催時(令和元年度)より来場者数が増加し、より多くの方に消費者問題、環境問題への意識啓発を行った。また、参加した消費者団体、環境団体の活動紹介及び交流の場を提供した。 | 来場者数 1,200人 | 来場者数 1,500人 | メインイベント参加者：1,152名 プレイベント参加者：5,062名 (「デジタル」消費生活と環境展185名+消費生活と環境パネル展示4,877名) |
| | ふれあい広場 | 社会福祉課 | ハンディのある人、ない人、子どもも高齢者も全ての人が一室に会える「ふれあい広場」の運営に要する事業費の一部を補助することにより、相互理解や連携を支援します。 | ②③④ | C | コロナ禍でも参加団体とのつながりを継続するための取り組みとして、令和2年度より『ホップ・ステップ・ジャンプ』の段階を踏み、従来の広場とは形を変えて実施してきた。今年度は「ステップ」の年として実施。過去のふれあい広場の写真や記事、また参加団体のPRや想いを動画にてメッセージを伝えた。 完成動画をYouTubeに配信し、広く市内外へ趣旨の理解を働きかけることができた。 | 参加団体数 39団体 | 参加団体数 49団体 | 参加団体数 34団体 |

| 項目 | 事業名 | 担当課 | (1)令和4年度実施状況 | | | | (2)目標指標の状況 | | |
|---------------------|--------------------|---------|---|-------------|-------|--|-----------------|-----------------|-----------------------|
| | | | 取組内容 | 協働の相手 | 事業の評価 | 効果又は理由(改善策) | 基準値 (H27) | 目標値 (R4) | 現状値 (R4) |
| | | | | ①～⑦ | | | | | |
| | 社会福祉大会 | 社会福祉課 | 主催:那須塩原市、那須塩原市社会福祉協議会 開催日:令和5年1月21日(土) 内容:代表受賞者のみの出席にて表彰式典 | ①②③④⑤ ⑥⑦ | B | 令和5年1月21日(土)、健康長寿センターにおいて代表受賞者のみの出席にて式典を開催しました。また、式典の様子を写真で記録し、本会ホームページに掲載しました。 | 大会の開催 開催 | 大会の開催 充実 | 大会の開催 代表受賞者による式典開催 |
| | なすしおばらまなび博覧会 | 生涯学習課 | 宇都宮共和大学那須キャンパスを会場に、2日間実施。 | ①②⑤⑥ | C | 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催。体験、飲食ブースの設置を再開した。 | 来場者数 7,100人 | 来場者数 10,000人 | 来場者数 5,800人 |
| | 貸館による市民活動支援 | 公民館 | 市内15公民館において、市民グループ、各種団体に対し、活動の場を提供した。 | ①②③④⑤ ⑥⑦ | C | 感染症対策を講じ、様々な活動を行う団体に施設の貸出しを行った。利用者数も徐々に回復しており、多くの市民の教養の向上、健康増進に寄与した。 | 利用者数 406千人 | 利用者数 440千人 | 利用者数 210千人 |
| | 家庭教育支援事業 | 公民館 | 市内15公民館において、各小中学校、地域住民ら協働し、家庭教育に関する学習、親子交流事業を実施した。 | ①⑤ | C | 家庭教育に関する学習を通じて、地域住民や親子の絆を深めることができた | 参加者数 11,000人 | 参加者数 12,000人 | 参加者数 8,184人 |
| | ひよこの会(託児ボランティアの活用) | 三島公民館 | 参加対象および定員を、講座初回時(6月)に1歳以上の未就園乳幼児を持つ市内在住の親子12組(24人)とし、全10回の講座(育児学習・親子活動・観劇・移動教室)を実施した。 | ②⑦ | C | 地域の保母ボランティアグループを利用し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施。幼児を持つ保護者に必要な学習機会と親睦の場を提供することが出来た。観劇・公演に関してはひよこの会に参加していない親子にも事前申込を行うことで参加を可能とした。 | 延べ参加者数 461人 | 延べ参加者数 426人 | 延べ参加者数 90人 |
| (2)「協働」を体験する仕組みをつくる | 協働事例集の作成・配布 | 市民協働推進課 | 協働のまちづくり推進協議会調査研究部会において作成した「市民活動に関する調査報告書」の配布を行った。 | ① | C | 配布部数が少なかった。また、平成28年4月に作成したもので、情報更新が必要になる可能性がある。 | 事例集の作成 実施 | 事例集の作成 充実 | 配布希望者への配布 実施 |
| | 各種審議会等委員への市民の登用 | 市民協働推進課 | 審議会・委員会等における公募による委員数51名 | ① | A | 公募制度の積極的な活用を即していく必要がある | 市民登用 40人 | 市民登用 50人 | 市民登用 51人 |

| 項目 | 事業名 | 担当課 | (1)令和4年度実施状況 | | | | (2)目標指標の状況 | | |
|-----------------------|---------------|---------|---|-------|-------|--|------------------|-------------------|------------------|
| | | | 取組内容 | 協働の相手 | 事業の評価 | 効果又は理由(改善策) | 基準値 (H27) | 目標値 (R4) | 現状値 (R4) |
| | | | | ①～⑦ | | | | | |
| (3)人材を活用する 仕組みをつくる | 女性の人材登録制度 | 市民協働推進課 | 登録者数：22名（令和5年3月31日時点） | ① | B | 各種専門分野で活動している女性を人材リストに登録し、庁内へ女性の人材リストを周知したが、利用の依頼が少なく、女性の登用を促進することができなかった。 | 周知・促進 実施 | 周知・促進 充実 | 周知・促進 実施 |
| | 統計調査員確保対策事業 | 企画政策課 | <ul style="list-style-type: none"> 新規登録調査員希望者 1名 統計調査員研修会・学習会 6月…学習会 12月…研修会 栃木県統計大会参加 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 | ①⑦ | D | 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、事業内容を一部変更して実施したため。新型コロナウイルス感染症の5類移行後についても、感染症対策を講じた事業の実施を検討する。 | 希望者数 149人 | 希望者数 160人 | 希望者数 142人 |
| | 生涯現役応援体制構築事業 | 高齢福祉課 | シニアサポーターのフォローアップ研修参加を支援した。 | ① | D | シニア世代の社会参加を促し、生涯現役社会の実現へ向けた機運づくりを進める。 | サポーター 数 3人 | サポーター 数 10人 | サポーター 数 1人 |
| | 生涯学習出前講座(市民編) | 生涯学習課 | <ul style="list-style-type: none"> 登録数47講座 延べ実施回数 5回 延べ利用者数 64人 | ①②⑤ | C | 令和3年度に引き続き感染症対策を講じた上で、実施した。また、スマート申請システムを使ってオンラインで出前講座の申込や実績報告の提出ができる申請フォームを作成した。 | 実施件数 11件 | 実施件数 20件 | 実施件数 5件 |